



成人病（生活習慣病）*News Letter*

第 49 回日本成人病(生活習慣病)学会 開催にあたって

第 49 回日本成人病（生活習慣病）学会
会長 木村 理
山形大学医学部 外科学第一講座
(消化器・乳腺甲状腺・一般外科) 主任教授



この度、第 49 回日本成人病（生活習慣病）学会を開催させていただき木村 理です。会期は 2015 年 1 月 10 日（土）～11 日（日）に都市センターホテルで開催させていただきます。

本学会総会は 49 回と歴史のある学会であり、また 2009 年より認定管理指導医資格に冠する審議ならびに認定を行なっています。このような学会総会を開催させていただくことは、たいへん名誉なことであり、ひとえに岩本安彦理事長をはじめ多くの理事ならびに会員の皆さまに感謝申し上げ、医局員一同身の引き締まる気持ちで準備させていただいております。

本学会ではテーマを” What's new in 生活習慣病” といたしました。生活習慣病は日本国民の重要な疾患であり、多くの患者さんが罹患しています。死因のトップである「がん」を始め、虚血性心疾患、脳卒中、高血圧、糖尿病、高脂血症、肝障害など多くの分野を含んでおり、専門分野に偏りがちな学会ではなく、国民の健康を全体から見ると、意義深く、まさに日常の臨床で必要かつ update な最新の医学的知識を参加の先生方が得られるような学会総会にしたいと考えております。

生活習慣病の病態、治療法さらに予防法について第一人者の先生方にご講義いただきます。脳卒中について棚橋紀夫先生、薬剤性肝障害について滝川 一先生、直腸がんの最新手術について渡邊聡明先生、岩本安彦理事長講演、認知・運動機能障害などについて村山繁雄先生、心疾患について井上 博先生、高血圧については東丸貴信先生、胃がんについて北山丈二先生、糖尿病について小田原雅人先生、高脂血症について木下 誠先生より、ご講演いただきます。

現在、日本人の 3 人に 2 人が癌になり、そのうち半分が癌でなくなる時代となってきました。シンポジウム I では「がん医療の変遷」について森岡恭彦名誉理事長、比企直樹先生、松田正道先生、瀬戸泰之先生よりご講演いただきます。

会長招請講演では日本静脈経腸栄養学会の理事長でたいへん有名な東口高志先生より、生活習慣病に関する栄養のお話をいただきます。

シンポジウム II では産業医の 3 単位を取得できる職域に関する「職域における栄養管理」、「過重労働と生活習慣病」、「職域におけるメンタルケア」、「救急疾患と労働災害」(仮題) についての講義をお願いしてあります。

市民公開講座は 2015 年 1 月 24 日（土）に山形テルサで開催いたします。生活習慣病や認知症に関するいろいろなご講演を予定しております。森岡恭彦先生よりインフォームドコンセント、岩本安彦理事長より糖尿病、会長木村 理より消化器疾患と生活習慣病、北山丈二先生より胃癌治療、渡邊聡明先生より、大腸がん・直腸がんの最先端医療、三原美雪看護師より「認知症に対する地域連携がんパス」(仮題) のお話を拝聴させていただきます。山形の 1 月は雪の多い季節ですが、生活習慣病を患っているひと、若い方もこれから注意すべき点も聞けますし、看護師などの皆様にも役に立つ市民公開講座と思います。

日本成人病（生活習慣病）学会は多くの開業の先生ならびに勤務医の先生にすぐ役に立つ知識が得られる学会ですし、ぜひ皆様が臨床でご経験した興味深い症例をご発表頂ければと思います。

患者さんを全体的に診る本学会は重要であり、高齢社会に向かっている社会では予防という観点も重要です。また、病気罹患以前の栄養や運動こそが重要であり、これらの点に関して、ぜひ皆様からのご参加をお願い申し上げます。

第49回日本成人病（生活習慣病）学会 —学術講演主要プログラム—

理事長講演

「糖尿病薬物療法新時代」

岩本 安彦（日本成人病（生活習慣病）学会 理事長）

会長講演

「生活習慣病と臓器疾患」

木村 理（山形大学 外科学第一講座

（消化器・乳腺甲状腺外科・一般外科）

特別講演 I

「薬物性肝障害」

滝川 一（帝京大学 内科学講座）

特別講演 II

「経口血糖降下薬 Update」

小田原雅人（東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）

会長招聘講演

「がんと栄養」

東口 高志（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）

プレナリーレクチャー I

「大腸手術におけるロボット手術の現状と将来展望」

渡邊 聡明（東京大学 腫瘍外科・血管外科）

プレナリーレクチャー II

「胃癌腹膜播種の病態と治療」

北山 丈二（東京大学 腫瘍外科）

Meet the Professor I

「脳梗塞診療の進歩」

棚橋 紀夫（埼玉医科大学国際医療センター 神経内科）

Meet the Professor II

「認知症と病態—成人病（生活習慣病）と認知症」

村山 繁雄（東京都健康長寿医療センター 神経内科・

バイオリソースセンター・神経病理（高齢者ブレインバンク）

Meet the Professor III

「失神の診療」

井上 博（富山大学 理事）

Meet the Professor IV

「血管機能と超音波検査で高血圧を診る」

東丸 貴信（東邦大学医療センター佐倉病院 臨床生理機能学）

Meet the Professor V

「脂質異常症治療—今後の展望—」

木下 誠（帝京大学 内科学講座）

シンポジウム I

がん医療の変遷

1. 「がん患者への対応」

森岡 恭彦（日本成人病（生活習慣病）学会名誉理事長）

2. 「外科病棟における栄養管理の変遷；だれが栄養を管理すべきなのか？」

比企 直樹（がん研有明病院 消化器外科／栄養管理部）

3. 「脾全摘術とその管理」

松田 正道（株式会社三越伊勢丹日本橋三越本店産業医）

4. 「ロボット支援下食道癌根治術」

瀬戸 泰之（東京大学消化器外科）

シンポジウム II

日本医師会認定産業医制度研修会（3 単位）

職域における生活習慣病

1. 「生活習慣病における栄養診断と栄養管理」

足立香代子（一般社団法人臨床栄養実践協会）

2. 「過重労働と生活習慣病」

藤井 聡（山形大学医学部 生理学講座・環境保全センター）

3. 「職域におけるメンタルヘルス」

林 博史（山形大学医学部 精神科）

4. 「救急疾患と労働災害」

伊関 憲（福島県立医科大学 地域救急医療支援講座）

ランチョンセミナー I

「2 型糖尿病患者の指導と実臨床での新薬」

栗原 義夫（医療法人社団糖友会栗原内科）

ランチョンセミナー II

「心血管リスクマーカーとしての EPA/AA 比の意義：久山町病院」

清原 裕（九州大学大学院医学研究院 環境医学分野）

ランチョンセミナー III

「糖尿病と他の生活習慣病との関わり」

山口 宏（山形済生病院 糖尿病内科）

ランチョンセミナー IV

「心房細動におけるこれからの抗凝固療法

—見えてきた NOAC の実力と使い分け—」

清水 渉（日本医科大学 内科学（循環器内科））

ランチョンセミナー V

「糖尿病と肥満—SGLT2 阻害薬への期待—」

中神 明子（東京女子医科大学 糖尿病センター）

ランチョンセミナー VI

「腎症の克服を目指した糖尿病治療戦略」

羽田 勝計（旭川医科大学 内科学講座病態代謝内科学分野）

市民公開講座 開催のご案内

第49回日本成人病（生活習慣病）学術集会の市民公開講座は、認知症と“**What's news in 生活習慣病**”をテーマに山形テルザにて開催いたします。
今回は意外と知らないことが多い“生活習慣病”について著名な先生方からお話を伺います。

日時：2015年1月24日（土）13:00～15:30

会場：山形テルサ 大ホール

入場無料 定員：500名

テーマ：認知症と“**What's news in 生活習慣病**”

講演演者

森岡 恭彦	日本成人病（生活習慣病）学会 名誉理事長
岩本 安彦	日本成人病（生活習慣病）学会 理事長
木村 理	山形大学医学部 外科学第一講座（消化器・乳腺甲状腺・一般外科）主任教授
北山 丈二	東京大学医学部 腫瘍外科 准教授
渡邊 聡明	東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科 教授
三原 美雪	山形県立鶴岡病院 主任看護師

※この公開講座は事前申込制（市民向け講座）です。

申込方法等は学術集会ホームページ（<http://square.umin.ac.jp/jsad49th/>）をご確認ください。

平成27年度学会認定管理指導医申請のご案内

日本成人病（生活習慣病）学会では本学会の教育、啓発活動を具体化するために平成23年度より学会認定管理指導医制度を発足させました。

平成27年度の申請につきまして下記の通りご案内申し上げます。

以下に学会認定管理指導医制度規定の一部を抜粋いたしますので、申請時の参考にしてください。

1. 認定管理指導医の申請に必要な書類
 - 1) 認定管理指導医資格認定申請書
 - 2) 履歴書
 - 3) 医師免許証（写し）
 - 4) 本学会学術集会参加証（写し）
 - 5) 本学会教育集会参加証（写し）
 - 6) 業績目録（過去5年間における本学会の講演、座長などの学会抄録の写し。生活習慣病に関わる論文、他学会における講演などの記録の写し）
 - 7) 本学会評議員あるいは認定管理指導医の推薦書
2. 認定管理指導医申請には以下に定める業績の5点以上が必要です。ただし、本学会学術集会あるいは教育集会に2回以上の出席が必須です。
 - 1) 本学会の学術集会出席（2点）：参加証の写し
 - 2) 本学会での発表（筆頭者1点、共同演者0.5点）：抄録号の写し
 - 3) 本学会の座長（1点）：抄録号の写し
 - 4) 本学会教育集会出席（2点）：教育集会受講票の写し
 - 5) 生活習慣病に関する論文発表（筆頭著者1点、共著者0.5点）：表紙の写し
 - 6) 他学会、研究会の成人病・生活習慣病に関する発表（0.5点）：抄録号の写し

※平成27年度申請の受付は平成27年1月15日より行い、平成27年10月1日をもって締め切る予定ですのでよろしくお願い申し上げます。なお、資格認定申請書は学会ホームページよりダウンロードできるように準備中です（他の書式は自由）。詳細は学会ホームページ上で順次ご案内申し上げます。ご参照ください。

第5回日本成人病（生活習慣病）学会教育集会を終えて

担当理事 渡邊 聡明
東京大学医学部腫瘍外科・血管外科

日本成人病（生活習慣病）学会教育集会は、成人病・生活習慣病の啓蒙、啓発を目的に1月の学術集会とは別に平成22年より教育集会を開催しております。この教育集会は、初回から過去4回まで、熊谷一秀理事が担当されてきました。これまで、成人病・生活習慣病として頻度が高



く重要な病態である高血圧症、糖尿病、脂質異常症など、さまざまな主題が取り上げられて、熊谷先生のご尽力により、素晴らしい教育集会が開催されてきました。その熊谷先生の後任といたしまして、本年度より、教育集会を担当させて頂く事になり、第5回教育集会を平成26年9月13日(土)の午後に、東京大学医学部附属病院内の大会議室にて開催させていただきました。

癌による死亡が増加する中、本年度の主題は「生活習慣と癌」とさせて頂き、各分野でご活躍されている最先端の先生方に御講演をお願いいたしました。帝京大学の滝川一先生、山形大学の木村理先生のご司会の下、乳癌と生活習慣（明石定子先生、昭和大学病院 乳腺外科 准教授）、生活習慣（病）と肺癌（杉山幸比古先生、自治医科大学 呼吸器内科 教授）、原発性肝癌の疫学の現況と将来（山本順司先生、防衛医科大学校 外科 教授）、胃癌と生活習慣（福島亮治、帝京大学 外科 教授）、

生活習慣と大腸癌（大矢雅俊先生、獨協大学 外科 教授）など、生活習慣と多岐にわたる癌との関係に関して、包括的で実臨床にも有益な御講演をいただきました。普段学会等に参加する機会があっても、専門領域の話題に集中することも多いかと存じますが、横断的な疾患を対象とする成人病（生活習慣病）学会の教育講演らしく、癌というテーマに対して広い視点からお話をお聞きできたとアンケート調査の結果からも高評価をいただきました。また、アンケート調査では、今後の講演内容、教育集会のあり方などに関しても、多くのご意見をいただき、今後の参考にさせていただきたく存じます。アンケートにお答え頂きました皆様には、誌面をおかりしてお礼申し上げます。



本教育集会は次年度も同様9月初旬に開催する予定としております。不慣れなため、今回の教育集会におきましても、行き届かない点が多かったかと存じます。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、来年の教育集会に向けて準備を進めさせて頂きたく存じます。なお、本学会では学会認定管理指導医制度をスタートして4年がたちますが、本教育集会の参加は学会認定管理指導医の申請、更新の重要な業績になることを申し添えます。

最後に教育集会開催にあたり多大なるご支援、ご指導、ご協力を常にいただいている岩本安彦本学会理事長ならびに理事、評議員の諸先生、学会関係者の皆様

に心から厚く御礼申し上げます。



WORLD NEWS

「電子たばこ」について

東京シーサイドクリニック
中川 敬一

禁煙指向の中、電子たばこが広がりつつある。これはカートリッジにニコチンを含む液体を詰め、電熱線で蒸気化して吸引するもので、2005年に中国の製造業者がはじめて開発してから昨年までに世界各国で466ブランドが存在し、市場規模は30億ドル（約3120億円）にまでに急拡大している。日本でもたばこの値上げをきっかけに禁煙グッズとして期待され、国内で10業者以上が製造・販売しており、日本たばこ産業株式会社も本年（2014年）6月に英国の大手電子たばこ会社を買収し販売を本格化させようとしている。

そうした中、本年8月26日、世界保健機関（WHO）は、電子たばこについて各国政府に広告規制の導入や屋内での使用禁止を提案する報告書を公表した(*1)。10月にモスクワで開かれた「たばこ規制枠組み条約」の締約国会議の議題にも挙げられ、未成年や妊婦の使用を防ぐ考えだ(*2)。

WHOは、フルーツ味、キャンディー味やアルコール飲料風味など約8000種類にも及ぶ電子たばこが世界中で発売されており、若者にとってニコチン中毒や喫煙開始のきっかけになっている

ことを重視している。また電子たばこが禁煙を補助するという証拠は未だ乏しく、従来の確立された禁煙補助剤で禁煙すべきだとしている。さらに電子たばこでもニコチンやその他の有害物質を含み、使用者がはき出す噴霧が周囲の非喫煙者に悪影響を与えるとも指摘している。

以上のような問題点を踏まえ今回の規制案では、各国の政府当局が電子たばこの製造会社に対して宣伝・広告やスポンサーシップを制限し、電子たばこの販売対象が若者や非喫煙者にならないように監視すべきだとしている。また屋内使用についても、公共施設や職場においては電子たばこの使用を規制するような法的手続きをとるべきだと呼びかけている。日本政府がどれだけ厳しく対応できるのか、注意深く見守る必要があると思われる。

*1 : <http://www.who.int/nmh/events/2014/backgroundere-cigarettes/en/>

*2 : http://apps.who.int/gb/fctc/PDF/cop6/FCTC_COP6_1Rev2-en.pdf

理事会報告

平成26年7月7日（月）開催

- ◎ 議長より、前回理事会（平成26年1月）議事録について報告がなされた。
- ◎ 第48回田尻久雄会長より学会終了報告がなされた。
参加人数・収支報告・他
参加人数：医師・他：459 コメディカル：139 招待：27
◇ 市民公開講座
東京慈恵会医科大学1号館3階講堂で「認知症の予防と治療」を開催した。参加人数：約350名
- ◎ 第49回木村 理会長より学会準備状況についての概況報告がなされた。
◇ 会期：平成27年1月10日（土）・11日（日）
◇ 会場：都市センターホテル
◇ メインテーマ：「What's new in 生活習慣病」
◇ 市民公開講座の開催について
平成27年1月24日（土）山形テルサ 大ホール
- ◎ 再任理事・評議員について、次期理事会で再任決定を行う旨提案がなされた
- ◎ 理事長より、次期副会長の候補を次期理事会までに推薦して欲しい旨提案がなされ、
- ◎ 第50回記念事業について理事長より提案がなされた
第50回学術集会期間中に記念講演を開催
記念誌の発行
記念事業について委員会の立ち上げ
- ◎ 第5回教育集会開催について
◇ 日時：9月13日（土）14:00～
◇ 会場：東京大学病院 大会議室
- ◎ ホームページ委員会より報告
最新更新状況
- ◎ 認定管理指導医資格制度委員会
◇ 第4回教育集会開催について
開催：9月7日（土）
会場：千代田放送会館）の報告。
プログラムテーマ：「生活環境と疾患」
◇ 認定管理指導医の応募状況の報告と審査認定についての報告

事務局からのお願い

勤務先変更・住所変更・所属、役職等変更事項のある方は、必ず事務局へメール・FAX・葉書でご連絡下さい。
(電話での変更受け付けは出来ませんのでご注意ください。)

入会のお勧め

本学会は成人病・生活習慣病を対象とした学術団体です。会員数は現在約1,200名で、医師以外にも保健、栄養、スポーツ、検診関係の方々が数多く参加し、それぞれの場で活躍しています。新たに認定管理指導医資格制度や企画委員会による介入試験などの活動が開始されました。本会の趣旨に賛同して頂ける方の多数の入会をお願いします。

なお、申し込み用紙は事務局に直接連絡して取り寄せるか、ホームページの申し込み用紙をダウンロードしてお使いください。

また、ホームページの「入会のご案内」より直接お申し込みも出来ますのでご利用ください。

※ホームページから入会のお申し込みをされる場合、年会費のご入金を確認出来た時点で入会となります。(会員番号と手続き完了のお知らせメールを送信致します。)

ご入金の確認が出来ない場合は入会にはなりませんので、ご注意ください。

一般会員年会費：5,000円／評議員年会費：8,000円
入会金：なし

お問い合わせ・資料のご請求

日本成人病（生活習慣病）学会

事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
(編集部) 株式会社 文栄社 内
TEL：03-3814-8541 FAX：03-3816-0415
E-mail：jimukyoku@j-seijinbyou.gr.jp
URL：http://www.j-seijinbyou.gr.jp

編集後記

2014年は科学、報道、政治を始めとする様々な分野で仕事に対する誠実さや品格が問われた年でした。そのような年もとうとう1年で最もせわしなく感じられる12月です。
藤原実房が出家後80歳を超えて詠んだ和歌

いそがれぬ年の暮こそあはれなれ
昔はよそに聞きし春かは
新古今集701

平安のいにしえでさえも師走は多忙であった様子です。心を乱さずに新年を迎えられるのは当分先と思われます。

(河野 了)

お詫びと訂正

前号 (Vol.13-No.1) 認定管理指導医名簿の掲載に誤りがありました。
先生並びに関係の方々には大変ご迷惑をお掛けいたしました。訂正してお詫び申し上げます。

誤：認定番号：056 今井 論



正：認定番号：056 今村 論

成人病（生活習慣病）ニュースレター
Vol.13-No.2 2014年12月1日発行

発行人：岩本 安彦
委員会顧問：増田 善昭・山口 巖・青沼 和隆
責任編集委員：河野 了 (筑波大学)
編集委員：馬原 孝彦 (東京医科大学)
大澤 勲 (順天堂大学)
北川 泰久 (東海大学八王子病院)
北山 丈二 (東京大学)
佐藤 麻子 (東京女子医科大学)
徳岡健太郎 (東海大学八王子病院)
中川 敬一 (東京シーサイドクリニック)
穂苺 厚史 (東京慈恵会医科大学)
平井 一郎 (山形大学)
横山 登 (昭和大学豊洲病院)

本誌広告申し込み先：日本成人病（生活習慣病）学会事務局
(株) 文栄社 までお問合せください。

印刷所：株式会社 文栄社6